

船橋自然散策会

親子自然散策会（小室コース）

田島正子（船橋市）

日 時：2023年5月13日（土）9：30～12：00 曇り一時雨
場 所：船橋市小室町 小室公園～神崎川（主催：船橋市環境政策課）
参加者：11名（大人6名、子ども5名）
担当指導員：山口、勝股、田島

船橋市環境政策課主催の親子自然散策会は春と秋に行われており、今回は船橋市の最北端である小室地区で実施されました。天気予報は小雨、38名の応募がありましたが、キャンセルが相次ぎ最終的には11名になり、3班の予定を2班にしてスタート。幸い、途中でパラッと降られただけで、雨に濡れることなく実施することができました。

9つの項目を設けたビンゴカードを渡し、ビンゴの内容に沿って進行。参加者は低学年と幼児なので、五感を使った観察を意識し、草花遊びも多く取り入れました。オオバコの葉の筋出し、オオバコ相撲、イチヨウの葉で作るキツネ（ゾウ）、笹船作り、草笛（アカツメグサの葉）、そして草花を使った塗り絵です。次から次に草花遊びを行いました。子どもたちはみな上手にでき、「もう一回やる」と何度もやりたがりました。クマザサやヨシの葉で船を作り水路に流しましたが、それ以外の葉でもチャレンジしようとしたり、オオバコの葉の筋だしを他の葉で筋が出ないか試したり、塗り絵では花の色と紙に塗った色の違いを見つけたり・・・、子どもたちはアレコレ考えて応用していました。

ハコネウツギの花にコアオハナムグリが潜り込んで花粉を食べていました。そっと手に取り渡そうとすると、皆さんイヤそうな顔。エノキの葉についているとんがり帽子のようなエノキハトガリタマフシの中の幼虫を虫メガネでしっかり観察。泡の中に住むアワフキムシの幼虫にも興味津々。ゴミになりきるゴミグモの知恵に感心しきり。長いアリの行列の前にしゃがみこみ「どこまで行くのだろう？」。虫が嫌いなわけではなく、興味はあるのだけ「触るのはちょっとイヤ」とのようです。

神崎川周辺の田んぼは田植えが終わり、のどかな風景。「ケーンケーン」とキジが何度も鳴き、小鳥たちがいい声でさえずっています。参加された地元のお父さんから、「生き物のことを知ることができ、住んでいる地区の良さを見直すことができた」との感想を頂きました。親子で自然体験を共有でき、若いご両親に自然のことを知ってもらう機会になった親子観察会はとても有意義なものだと感じました。私たちも風薫る季節に小室地区で観察会を行うことができ、とても楽しかったです。



アカツメグサの葉で草笛



ヨシの葉で船を作り、水路に流す